平成27年12月20日発行
第55号

なすしおばら

社協だより

11/15(日)に健康長寿センターにて「見えづらさをサポートします！　～お役立ち講座～」が開催されました。会場では、音声パソコンや拡大読書器等の展示、白杖体験や盲導犬体験などが行われました。

特集 制度の狭間にいる人を救う社協

現在我が国では、少子高齢化の進展により人口減少社会に突入するとともに、地域とのつながりの希薄化や単身世帯が増加する中で、社会から孤立する人が生じやすい環境となってきています。このような環境においては、悩みを抱えていてもだれにも相談できないという人が増加の一途をたどり、こうした「社会的孤立」が健康的な日常生活を送ることを困難にさせています。

このような状況の中、従来の福祉制度だけでは十分な支援が行き届かないことが考えられ、そのような人々をいかに社会から孤立させずに支援していくかが社会的課題となっています。福祉制度が充実し近隣との接触や交流なしに生活できる社会になった一方で、その枠に収まらない制度の狭間にいる人々が存在するようになってしまったのです。

＜制度の狭間にいる人＞とは

（例）

進学や就職につまずき社会との関係を閉ざしてしまった引きこもりの若者	引きこもりから孤立死にいたる単身の高齢者	ドメスティックバイオレンス（配偶者や恋人など、親密な者からの暴力）の被害にあっている親と不登校の子からなる世帯

この他にも、消費者被害に遭っても自覚のない認知症の一人暮らし高齢者、老老介護（高齢者が高齢者を介護すること）の親と知的障がいの子からなる世帯などといった複合的な問題を抱えているケースが数多くあります。このようなケースの多くは、どこに相談にいっていいかわからない、または、一度相談に行っても課題が複雑に絡まっており、市役所などといったひとつの窓口だけでは解決できないということから、あきらめ、だんだん自暴自棄になり、いわゆるセルフネグレクト（通常一人の人として生活において当然行うべき行為を行わない、あるいは、行う能力がないことから、自己の心身の安全や健康が脅かされる状態に陥ること）状態になってしまうことも考えられます。

このようなことから、こうした制度の狭間にいる人々に対して、本人が抱えている生活の障害そのものに総合的に対応し、本人が自分の生活を組み立てることができるよう支援していくことがいま社会福祉協議会に求められているのです。

それでは、制度の狭間にいる人に対して私たち社会福祉協議会が支援した事例をご覧ください。

事 例 ～家を追い出されそうになった知的障がい者への支援～

知的障がい者のAさん（40歳代男性）は、父親と共に2人で暮らしていたが、3年前に父親が他界したため、それまで父親と一緒に暮らしてきた借家に一人で住んでいた。Aさんは、金銭の管理や身の回りの片付けなどが苦手であった。月に5～6万円程度のアルバイト収入と父親の遺産で生活してきたが、家賃の支払いが滞り大家から催促があり、そのことをアルバイト先の会社の社長に伝えたところ、近所の民生委員に相談するよう勧められた。

相談を受けた民生委員は、相談内容の事態の深刻さから、社会福祉協議会へ連絡した。

連絡を受けた社会福祉協議会の担当職員は、民生委員とともにAさん宅を訪問し生活の状態を確認したところ、いくつかの課題が浮かび上がってきた。

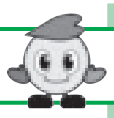
以下の図は、それら課題への支援の過程を簡易的に表したものです。

課題① 家賃を払えず、住まいを失うおそれがある

課題② 金銭管理が困難である

課題③ 自分の障がいの相談窓口を持っていない

社　会　福　祉　協　議　会



支援①

大家さんとの仲介役となり、計画的に家賃を支払っていくことを説明し、住まいを確保した。

支援②

社会福祉協議会の日常生活自立支援事業(※1)による金銭管理の手続きを進め、家賃や公共料金の計画的な支払いや、通帳管理の支援を行った。

支援③

市役所の障がい者を担当する部署へ行き療育手帳の申請の手続きを進め、福祉サービスにつなげる支援を行った。

その他にも！

アルバイト先へも訪問し社長がこれまでAさんのことを気にかけて面倒をよく見てくれていたことがわかったため、今後のサポートについても相談し協力を依頼した。また、洗濯機や冷蔵庫なども故障していることから、地元の自治会役員へ呼びかけたところ、洗濯機や冷蔵庫を譲ってもらうことができ、さらには食糧までも提供してもらえるようになった。

現在は、療育手帳を取得しヘルパーを利用することができるようになり、生活も軌道にのりつつある。また、近隣住民は、Aさんの暮らしぶりについて気にかけ、そっと見守るようになった。このように地域での支援の輪も広がった。

この事例のように、社会福祉協議会では、**公的サービスだけでは解決できない個人が抱える生活課題に寄り添い、さらに地域住民とともに解決に向けて取り組んでいます。**このように地域とのつながりによる対応も取り入れることで、すべての人が地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを実現することができるようになります。

社会福祉協議会は、こうした制度の狭間にいる人に対してその個々人に適切な支援策をオーダーメイドで考え、その人がその人らしく生きていく道を開いていくことを使命としています。

※１　日常生活自立支援事業　認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な人が自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行う事業。

ボランティアセンターだより

ボランティアの一番の魅力は「新しい経験ができる」、そして「人の役に立てる喜び」です!!

今、男性のボランティアが増えてきています。

“男性より女性のボランティアが多い”という調査結果もありますが、近年男性のボランティアも増えてきています。特に**災害時における被災地支援においては男性の活躍が目立っており、これをきっかけに他のボランティア活動を始める人もいます。**

しかしながら「**仕事が忙しい**」「**参加する機会がない**」などの理由からボランティアをしたことのない人がまだまだ多くいることも事実です。特に**男性では「周りで活動する人がいれば参加しやすいが、いないから・・・」「知らない人との関わりを持つ自信がない**」などの意見も多く、男性にとっては“人からの誘い”や“後押し”が必要なのかもしれません。

巻狩まつりでの介助ボランティア⇒

ボランティアのやりがいとは?

10月25日(日)那珂川河畔公園で行われた那須野巻狩まつりにおいて、会場内を歩くことが難しい高齢者や障がい者への車いすの貸出しや、介助を行うボランティアに参加した3名の男性に話を伺ってみました。

新たなことへチャレンジ!

50代

息子と一緒に東北や鹿沼市などへ、被災地支援に行ったことはありますが、介助ボランティアは初めてでした。介助中に車いすから落としてしまわないか、段差や坂道では大丈夫かなどの不安はありましたが、実際に介助してみたら達成感が得られました。

できることから!

70代

男性なら、スポーツなどの趣味を持っている方も多いので、趣味を活かしたボランティアから始めれば参加しやすいと思います。

つながりと喜び!

50代

10数年来活動をしています。ボランティア活動には“出会い”“つながり”“広がり”があります。普段は自宅と会社の往復だけでしたが、活動をとおして人の輪が広がりました。以前、ボランティアの会合があった際、会社の上司と偶然会って驚いたことがありました。仕事以外でのお付き合いができ、新たな信頼関係ができたんです。また、今回の介助ボランティアで、利用した人から「ありがとう!助かった!」と言われたことで心が満たされました。ボランティアをする喜びですね。

ボランティアセンターでは、給食･配食サービスのお手伝いや、目が不自由であったり耳が聞こえづらい人たちへの支援など、この他たくさんのボランティアを募集しています。

ボランティアをとおして、今までの自分とは違う“新たな自分”をみつけてみませんか?

≪ボランティアを始めたい人、興味がある人は、ぜひボランティアセンターにお問い合わせください!!≫

那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター
那須塩原市桜町1-5　いきいきふれあいセンター内
TEL/FAX　0287-73-0073

福祉活動紹介㉜

小地域福祉活Do

「青木周蔵感謝祭」開催!!
～青木地区コミュニティ推進協議会～

11月7日(土)に青木小学校にて青木地区コミュニティ推進協議会主催の「青木周蔵感謝祭」が初開催されました。青木地区は、明治時代の偉人青木周蔵が開拓により青木農場を作ったことで人々が集まった地域であり、昔から住民同士が支え合ってきました。この感謝祭では、地域のみなさんに楽しんでもらうだけでなく、改めて地域のつながりを深めたいという思いもあって初めて企画したのだと同協議会の人見忠夫会長は話してくれました。

開会のセレモニーでは、会場内のみなさんが大きな声で「牛乳でカンパイ！！」とおなじみの音頭が盛大に行われ、青木地区のみなさんの心がひとつになったように感じました。

みんなで「牛乳でカンパイ!!」

会場内では、青木小学校の児童と黒羽高校相撲部員との交流相撲、おこわやすいとん、パンやピザ、クッキーなどを売るテントが並びました。また、那須石油発動機愛好会による、かつて農作業で使っていた機械の展示などさまざまな催しが行われました。

会場は多くの地域のみなさんで賑わい、笑い声や近所の人同士で楽しそうに話をする姿がみられ、地域のつながりの深まりを感じとることができました。

輝き人発見

このコーナーでは、地域で活躍するボランティアさんを紹介します。

黒磯鍋掛地区で輝き人発見!!

災害ボランティアやひとり暮らしの高齢者等にお弁当を届ける配送ボランティアなどで活躍している輝き人、大島道夫さんを紹介します。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは?

A. 平成10年8月の那須水害で生家が水没した際に、見知らぬ大勢のボランティアに床をはがして泥出しをしてもらいました。そのおかげでその年の暮れには実家に戻ることができました。この出来事がきっかけで恩返しがしたいと思いました。

そして平成16年の新潟水害で初めてボランティアに参加しました。当時は在職中だったので有給休暇をとって社会福祉協議会のバスで行きました。その後新潟中越・中越沖地震、東日本大震災や今回の関東・東北豪雨など被災地の支援に行きました。

Q. 活動をとおして得たものは?

A. 被災地に行くことによって、「スイッチを入れると灯りがつく、蛇口をひねると水が出る」という当たり前のありがたさに改めて気づくことができ、多くの贅沢を求めなくても幸せを感じることができるようになりました。

Q. 今後の目標は?

A. 趣味と体力づくりを兼ねてロードバイクに乗っています。健康で体力を維持してボランティア活動を長く続けたいと思っています。

これからの大島さんのさらなるご活躍に期待します。今後、大島さんのようなボランティアが増え、地域の活動が盛り上がっていくといいですね。

～第10回那須塩原市社会福祉大会のお知らせ～

と　き　平成28年1月30日(土)
第1部　式典　13:00～
第2部　記念事業(講演)　14:30～
ところ　那須塩原市三島ホール
主　催　那須塩原市社会福祉協議会、那須塩原市

入場無料

第2部　記念事業
講話　「人生は一番じゃなくていい」
～生まれてきてくれてありがとう～
講師　松野　明美　さん
(熊本県議会議員、元オリンピック選手)

～松野　明美(まつの　あけみ)さんプロフィール～

1968年、熊本県生まれ。高校卒業後、ニコニコドーに入社し、陸上部に所属。1987年、全日本実業団対抗女子駅伝に初出場し、12人をごぼう抜きする。その後、数々の大会で記録を残す。引退後、結婚し、2002年に長男が誕生。翌年に次男がダウン症という障がいを持って生まれる。
「明るく元気な松野明美」のイメージが崩れてはいけないと次男を一生隠そうと決心するが、日々の成長や笑顔に触れて、「人生は人との競争じゃない、いちばんじゃなくてもいい」と気づかされる。
現在は、自身のマラソンや子育ての経験をもとに、講演、タレント、ゲストランナーなど幅広く活動する。

わたしのまち自慢!!!

シリーズ㉗

―　紅葉に染まる散歩道　―　市内在住のN・Tさんからの投稿

私が紹介する街自慢は、大山公園です。この公園は、東北本線西那須野駅の東南約500メートルに位置し、東側には大山巌公爵の墓所、西側には戦没者の慰霊塔があります。
幼い頃は祖父に連れられてよく散歩にきたものです。春には桜、夏は新緑、冬は雪景色と四季折々の表情を見せてくれます。中でも私が一番好きなのが、秋の紅葉の時期です。紅葉が綺麗に紅く染まるころには、多くの人が写真をとりに訪れます。
朝の早い時間は人も少ないので、早起きして清々しい空気の中を散歩するのもオススメです。ぜひ一度足を運んでみてください。

みなさまのお住いの地域で紹介したい人・場所・活動などの情報がありましたら、どしどしご投稿ください。

みんなでつくろう!!　私たちのまちの福祉プラン
第3期那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画
～那須塩原市　地域座談会～

誰もが安心して豊かに住み続けられるまちづくりのために、地域の良いことや困りごとなど一緒に話し合ってみませんか。
どなたでも自由に参加できます。お気軽にどうぞ！！

日　程	会　場	日　程	会　場
1月13日(水)	ハロープラザ第２・第３会議室	1月20日(水)	西公民館会議室
1月27日(水)	とようら公民館会議室１・２	2月１日(月)	狩野公民館講座室１・２
2月３日(水)	厚崎公民館試食研修室	2月８日(月)	塩原公民館会議室Ⅰ
2月10日(水)	南公民館会議室	2月17日(水)	鍋掛公民館多目的ホール
2月26日(金)	高林公民館研修室	2月29日(月)	東那須野公民館研修室

※全日程、19時開始となります。

～あなたも老人クラブに入会しませんか?～

老人クラブとは、生きがいを持ち日常生活を健全で豊かなものにするために、同じ地域に住む高齢者が自主的に集い、レクリエーションや奉仕活動をとおして友達作りの輪を広げる組織です。具体的には、ゲートボールやグラウンドゴルフ、輪投げ、吹き矢などを行っています。

また、自分たちの生活だけでなく、「地域を豊かにする」ために様々な活動に取り組んでいます。集いの場づくり（サロン）、暮らしの支え合い、福祉施設等の訪問、地域のボランティアへの参加といった社会活動や、地域の文化・伝承芸能・民芸・手工芸・郷土史・生活記録等の伝承活動、手工芸品の作成および展示なども行っています。

スポーツ大会

みなさんも、老人クラブに参加して、第二の人生を豊かに過ごしてみませんか?

※参加資格：那須塩原市在住の60歳以上の人。

老人クラブへの加入については、社会福祉協議会にお問い合わせください。

那須塩原市社会福祉協議会　担当：生活支援係　0287－37－5122

まごころありがとうございます

次の方々からあたたかい寄附をいただきました。

平成27年10月1日～平成27年11月30日寄附分

〔（　）の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ

匿名（3件）		7,000円	提箸節子	（3回）	10,020円
泉カラオケ教室	（19回）	15,000円	美咲はるか歌謡ショー（チャリティ）	（3回）	10,000円
那須塩原ダンス部	（18回）	50,000円	全建総連黒磯支部	（12回）	5,100円
相馬タイ子	（12回）	5,000円	タムラ建設株式会社	（15回）	100,000円
黒磯山草会	（18回）	5,000円	東那須野地区婦人会	（16回）	10,000円
環境整備㈱　栃木北営業所	（2回）	7,100円	第6回那須塩原市商工会長杯チャリティゴルフ大会	（1回）	58,800円
美術グループくろいそ	（2回）	46,300円	西那須野南部・北部地区　民生委員児童委員協議会	（4回）	7,668円
歌の仲間カラオケ竹の子の会	（42回）	10,000円	三川和洋	（4回）	20,000円
永岡久明	（122回）	6,000円	黒磯地区婦人会	（15回）	10,000円
那須塩原ソフトテニス連盟	（10回）	11,800円	第22回ハロープラザまつり運営委員会	（11回）	27,423円
㈱ヒーローライフカンパニー	（12回）	10,000円	第35回ふれあい広場実行委員会	（9回）	134,825円
栃木県街商協同組合	（1回）	50,000円	福祉協力店（1件）		1,475円
東遅沢むらおこし推進協議会	（1回）	10,000円			

善意銀行へ

匿名（1件）		商品券	川野辺由美子	（1回）	千羽鶴45,000羽
那須塩原ダンス部	（18回）	20,000円	西那須野南部・北部地区　民生委員児童委員協議会	（4回）	やかん・ボウル
ZAPP黒磯店	（74回）	菓子類17箱	栃木県立大田原高等学校	（3回）	雑巾250枚
ニラク大田原加治屋店	（119回）	菓子等5箱	心美会	（11回）	20,000円
小熊政二	（1回）	タオル107本	ガイアらくらく館黒磯店	（1回）	菓子類4箱

交通遺児基金へ

子鳩の会	（1回）	2,000円
那須塩原交通安全協会箒根支部女性部	（8回）	40,163円

栃木県立
大田原高等学校様

こどもふくしコーナー

おしえて!こころまる

福祉のお仕事 ホームヘルパー編

こんにちは、こころまるです。
みんな元気？　インフルエンザにかからないように気をつけよう！

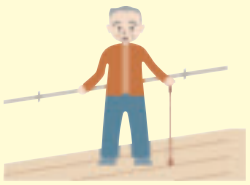
最近、僕のうちのおばあちゃんが病気になっちゃって、今は病院から退院してきたんだけど、体が不自由だから一人ではお風呂に入れなくなっちゃったんだ。だから、お風呂に入る時には、だれか知らない人が来てお風呂に入るのを手伝ってくれているんだ。

その人はホームヘルパーさんっていうんだよ。ホームヘルパーさんは病気などで身の回りのことが自分でできなくなったときに、その人に代わって掃除、洗濯、調理などのお仕事をする人なんだよ。

ホームヘルパーさんってすごいなぁ！お母さんも、すごく助かるって言ってたよ！

おばあちゃんのお世話は、おうちの人やホームヘルパーさんだけができることではなく、きみにもできることがあるよ。今度、おばあちゃんに布団をかけてあげたり、ベッドまでご飯を運んであげたりしてみてね。

●こころまるのふくしクイズ



Q１　お年寄りが生活しやすくするための工夫は何でしょうか?

①　手すりをつける　　②　段差をたくさん作る

③　室内を暗くする

Q２　お風呂から上がったとき、浴室と脱衣所の温度差はどれくらいがいいでしょうか?

①　体が冷えるといけないので、脱衣所の温度を浴室より10度以上上げておく

②　お風呂上りで熱いので、脱衣所の温度を浴室より10度以上下げておく

③　浴室と脱衣所の温度差は5度以内にしておく

【ふくしクイズの答え】

Q１　①　手すりをつけると、自分の体を支えることができるから歩きやすくなるよ。

Q２　③　脱衣所に上がったときに急な温度の変化があると、体がびっくりして倒れたりしちゃうんだ。浴室と脱衣所はなるべく同じ温度にしておこう。

みんなもわからないことや気になることがあったら、僕や社会福祉協議会に連絡したり、自分で調べたりしてみよう！

発行　社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会
住所　〒329-2705　那須塩原市南郷屋5丁目163番地（健康長寿センター内）
TEL 0287（37）5122　FAX 0287（36）8710
ホームページアドレス http://ns-shakyou.jp/　Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp